(表2)消費収支計算書総括表(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

(単位 千円)

				1			
支	出の	部		ЧΣ	入 の	部	
科目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差異
人 件 費	1,502,800	1,253,186	249,614	学 生 納 付 金	2,235,900	2,250,955	15,055
教育研究経費	1,035,300	937,399	97,900	手 数 料	120,500	138,873	18,373
管 理 経 費	209,188	171,038	38,150	寄 付 金	17,000	49,341	32,341
借入金利息	26,000	25,944	56	補 助 金	313,500	310,479	3,021
資 産 処 分 差 額	0	5,657	5,657	資 産 運 用 収 入	106,200	133,491	27,291
徴 収 不 能 額	0	0	0	資 産 売 却 差 額	0	0	0
	(17,188)			事 業 収 入	37,000	42,367	5,367
[予備費]	2,812		2,812	雑 収 入	5,000	1,790	3,210
				帰属収入合計	2,835,100	2,927,296	92,196
消費支出の部合計	2,776,100	2,393,224	382,876	基本金組入額合計	376,600	547,081	170,481
当年度消費支出超過額	317,600	13,009		消費収入の部合計	2,458,500	2,380,215	78,285
前年度繰越消費収入超過額	1,144,500	1,610,773					
翌年度繰越消費収入超過額	826,900	1,597,764					

予備費17,188千円の使用額は、人件費7,300千円・管理経費9,888千円である。

(表3)貸借対照表(平成16年3月31日現在)

(単位 千円)

資	産の	部		負		部			
具	一 性 の				ill U	미			
科 目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減		
固定資産 有形固定資産	18,024,297 9,245,276	17,610,637 9,369,574	413,660 124,298	固 定 負 債	1,740,994	1,873,195	132,200		
有形回足貝座 土 地	1,144,767	1.144.767	0	長期借入金	532,169	588,458	56,289		
建物	5,927,569	6,054,693	127,124	退職給与引当金	1,208,825	1,284,737	75,911		
構 築 物 教育研究用機器	140,303 851,554	86,282 892,725	54,021 41.171	流動負債	700,998	616,006	84,992		
教育研究用機器 新育研究用備品	54.800	67,313	12,513	短期借入金	56,289	47,230	9,059		
教育研究用備品 その他の機器 その他の備品	11,110	13,078	1,968						
その他の備品	51,231	52,207	976	未 払 金	32,689	25,146	7,543		
割 車 両	1,061,025 2,917	1,055,009 3,500	6,016 583	前 受 金	496,673	433,241	63,432		
教育 研究 用 備 保 その の の の を図 事 建 設 仮 勘	2,917	0,300	0	預 り 金	115,347	110,388	4,958		
その他の固定資産	8,779,021	8,241,063	537,958	負 債 の 部 合 計	2,441,992	2,489,201	47,208		
電話加入権	1,325 4.043	1,325 4,043	0				47,200		
領	4,370,810	4,335,710	35,100	基	本金の	部			
退職給与引当資金	1,376,847	1,376,847	0	科 目	本年度末	前年度末	増 減		
教育充実準備積立金	499,990	349,990	150,000						
第2号基本金引当資金	1,550,000 1,250,000	1,213,963 1,113,963	336,037 136,037	第 1 号 基 本 金	12,224,964	12,030,740	194,224		
教育環境整備引当資金 大型機器充実引当資金	100.000	100.000	0	第 2 号 基 本 金	1,550,000	1,213,963	336,037		
施設設備整備引当資金	200,000	0	200,000	第 3 号 基 本 金	782,006	765,185	16,820		
第3号基本金引当資金	782,006 182,401	765,185	16,820	第 4 号 基 本 金	194,000	194,000	0		
厚生資金	9,598	178,444 13,555	3,957 3,957	基本金の部合計	14,750,970	14.203.889	547.081		
厚生資金貸出高 奨 学 資 金	356,152	346,152	10,000			,,	347,061		
榎並奨学・報奨基金	107,117	105,117	2,000	消 費 収 支 差 額 の 部					
記念事業 第4号基本金引当資金	126,737 194.000	121,917 194.000	4,820	科目	本年度末	前年度末	増 減		
第4亏基本並引回員並 流動資産	766,429	693,226	73,203	र्ग 🗎	4 + 及不	別十技不	卢		
現金・預金	723,151	645,112	78,039	翌年度繰越消費収入超過額	1,597,764	1,610,773	13,009		
現 金 ・ 預 金 未 収 入 金 前 払 金	6,995 36,283	15,661 32,453	8,666 3,830	消費収支差額の部合計	1,597,764	1,610,773	13,009		
資産の部合計	18,790,726	18,303,863	486,863	負債・基本金・消費収支差額の部合計	18,790,726	18,303,863	486,863		

消費収支計算書総括表(表2)

(当該会計年度の経常的な収入と経常的な支出との収支を示す もの)

消費収入は、資金収入に現物寄付を加算計上した帰属収入 2,927百万円から、予算を上回る基本金組入額547百万円(昨年度決算で承認された施設設備整備資金200百万円の新規組入 を含む)を控除した結果、2,380百万円と予算を下回りました。

消費支出は、資金支出に退職給与引当金及び会計上の減価 償却費を調整加算した結果、2,393百万円と予算を大幅に下回 りました。また、予備費については資金支出と同様の処理を 致しました。

以上の結果、消費収入から消費支出を差引いた平成15年度 の消費収支は、支出超過となりましたが、支出面における節 約や合理化の効果から、その額は13百万円と若干の支出超過 に止まり、これに伴い翌年度繰越消費収入超過額も1,597百万 円となおかなりの額を維持しました。

貸借対照表(表3)

平成15年度末の資産総額は、建物や研究機器など有形固定

資産は減価償却により減少しましたが、第2号基本金を含む諸 引当資金の積増しにより、合計では増加し、18,790百万円と なる一方、負債総額は、借入金の返済等から、2,441百万円に 減少しました。

この結果、資産総額から負債総額を差引いた期末純資産額 は前年度に比べ534百万円(3.4%)増の16,348百万円となりま した。

以上のように、学校法人の財政は皆様方のご協力により単年度で見る限り安定的な状態を維持しています。しかしながら、今後につきましては、昨今の資格取得志向の高まりはありますものの、薬系新設大学・学部の増加のほか、平成18年度に迫った薬学教育6年制へ対応が急がれる状況にあり、薬科大学を巡る経営環境は大きく変わろうとしています。

このような情勢のなか、6年制を含む本学の教育の質・量、 両面の一層の向上に資するよう、教育環境の整備を進め、厳 しい環境下にあっても、本学の安定的な発展を図っていくた めには、引続き多くの資金要因が考えられます。教職員並び にご父母の皆様方には、なお一層のご支援・ご協力をお願い 申し上げます。